

桐生市議会 公明クラブ 政務活動費視察報告書

視察都市	広島県尾道市
視察日時	令和8年1月16日
視察項目	・地域共生 重層的支援 引きこもり支援
参加者	山之内肇

## 1. 視察目的

桐生市では、複雑化・複合化する市民課題に対応するため、令和8年度から重層的支援体制整備事業の本格実施を予定している。それに先立つ移行準備期間においては、各種事業の準備を綿密に重ねて頂いてきた訳であるが、自身として、特に相談体制や庁内連携の強化、多機関協働の推進、相談者の社会参加の推進に向けた地域資源の掘り起こし等について議会質問等において提案・要望を重ねてきたところである。

こうした中、先進自治体である尾道市においては、既に同事業の構築・運用が進められており、相談支援体制の整備、多機関協働の仕組み、ひきこもり支援を含めた包括的支援の実践が成果を上げている。

本視察は、同市における移行準備段階からの取組経過、事業実施計画、会議体の運用、ひきこもり支援の実態等を把握し、桐生市における今後の施策展開に資することを目的として実施したものである。

## 2. 重層的支援体制整備事業開始までの取組

尾道市では、少子高齢化や地域コミュニティの希薄化を背景として、8050問題、ダブルケア、ひきこもり等の複合的課題が顕在化していた。これらに対応するため、令和2年5月に「福祉まるごと相談窓口」を設置し、分野を問わず相談を受け止めるワンストップ窓口を整備した。

当該窓口は、相談先が分からない市民に対する“入口機能”として位置付けられ、社会福祉協議会が運営主体となり、関係機関との連携のもとで支援へとつなぐ役割を担っている点に特徴がある。

さらに、令和3年1月には「地域共生包括化推進会議」を設置し、官民が連携して複雑化・複合化した課題に対応する協働体制を構築した。この会議体を中核として、多機関による支援調整、支援者支援、地域資源の開発が進められ、重層的支援体制整備事業の基盤が形成されてきた。

### 3. 重層的支援体制整備事業実施計画の概要

尾道市の重層的支援体制整備事業実施計画では、重層的支援体制整備事業を以下の五つの機能に整理している。

一つ目は「属性を問わない相談支援」であり、全ての相談を包括的に受け止める体制である。

二つ目は「参加支援」であり、社会参加が困難な者への居場所づくりや就労支援等を行う。

三つ目は「地域づくりに向けた支援」であり、地域住民や関係団体との連携による支え合いの仕組みを構築する。

四つ目は「多機関協働」であり、分野横断的な支援調整を実施する。

五つ目は「アウトリーチ等を通じた継続的支援」であり、支援が届きにくい対象者への訪問等を含めた伴走型支援を行う。というものである。

本計画は、既存の福祉分野の別計画との整合を図りつつ、制度横断的に支援を束ねる構造となっており、重層的支援体制を単独事業ではなく、地域福祉全体の基盤として位置付けている点が特徴である。

### 4. おのまる会議の概要

尾道市における多機関協働の中核は「おのまる会議」と総称される会議体系である。

まず、「重層的支援会議（おのまる会議）」は、事業方針の決定、仕組みの検討、実績評価等を担う意思決定機関として機能している。次に、「おのまる委員会」は実務レベルの会議として、個別ケースの支援方針の検討、役割分担の明確化、

支援終結の判断、事例分析等を担っている。さらに、「課題解決会議」は専門部会として位置付けられ、地域に共通する課題について集中的に検討し、新たな社会資源の創出や試行的取組へとつなげている。

このように、意思決定・実務調整・課題解決の三層構造により、個別支援と政策形成が連動する仕組みが構築されていることは特筆すべき点である。

## 5. ひきこもり支援の取組

### (1) 概要

尾道市では、ひきこもり支援を単独施策としてではなく、重層的支援体制の一環として位置付けている。その中核を担うのが「ひきこもり支援ステーションみらサポ」であり、相談支援、関係機関連携、社会参加支援を一体的に実施している。

同ステーションは、本人および家族からの相談に応じ、課題の整理を行うとともに、関係機関と連携しながら支援を進める拠点である。相談方法も電話、面談、訪問、メールなど多様に用意されており、支援につながりにくい当事者への配慮がなされている。

また、家族支援や傾聴支援員の養成、啓発活動を通じて地域全体の理解促進と支援力向上にも取り組んでいる。これにより、個別支援にとどまらず、地域における支援の裾野を広げている点が特徴である。

その様な取り組みによって相談件数は年々増加しており、特に開設2年目に大幅に伸びていることから、潜在的ニーズの顕在化と相談体制の有効性が確認されている。

### (2) 支援の特徴

#### ・本人・家族双方への支援

尾道市では、本人への直接支援に加え、家族支援を重視している。ひきこもり状態にある本人は自ら支援機関につながる事が難しい場合が多く、家族からの相談が支援の入口となるケースが多い。このため、家族への助言や心理的支援、交流機会の提供が体系的に実施されている。

- ・アウトリーチと関係性の構築

本人や家族の同意を得た上で、訪問支援を実施し、段階的に信頼関係を構築する取組が行われている。支援は一方的な介入ではなく、本人の意思を尊重しながら継続的に関わる伴走型支援が基本とされている。

- ・多機関協働による支援体制

尾道市では、「みらいネット会議」等の協議体を中心に、福祉、医療、就労、地域関係者が連携し、個別ケースごとに支援方針を共有している。これにより、支援の重複や抜け落ちを防ぎ、チームとして対応する体制が確立されている。

- ・地域理解の促進と人材育成

ひきこもり支援においては、地域の理解が不可欠であることから、尾道市では「ひきこもりサポーター養成講座」を実施し、地域住民を支援の担い手として育成している。また、啓発活動やセミナーを通じ、正しい理解の普及と孤立の防止を図っている。

## 6. 桐生市への示唆

今回の視察を通じ、桐生市が重層的支援体制整備事業を本格実施するにあたり、次の点において重要な示唆が得られた。以下、主なる点を述べる。

第一に、相談の入口を明確にし、「どこに相談してよいか分からない市民」を確実に受け止める体制を整えることである。この部分は必ずしも総合窓口の設置にこだわるものではないが、逆に言えば、どの窓口でもきちんと相談を受けられる体制を整えるということでもあるので、保健福祉部に留まらず、全庁的な徹底が必要であると認識する。

第二に、多機関協働事業に関し、具体的な運用ルールを明確化する必要がある。特に主担当機関の役割、継続支援のあり方等を明確にし、現場が動きやすい体制を構築すべきである。この点は事業委託する桐生市社会福祉協議会との密なる協議が必要であると認識する。

第三に、個別支援と地域づくりを分断せず、地域のつながりや居場所づくりを含めた支援へと展開する必要がある。重層的支援体制は、単に困難事例を処理する制度ではなく、地域社会そのものの支え合いを再構築する取組であるという認識が求められる。

## ◎視察成果による当局への提言または要望等

- ・分野横断的な相談を受け止める窓口機能の可能な限りの明確化（相談の入り口の明確化）、もしくは、どの窓口からも分野横断的に情報が集まる仕組みの整備により、関係機関との連携のもとで支援調整まで一体的に担う体制を構築。
- ・多機関協働を実効性あるものとするため、意思決定機関、実務調整機関、課題解決機関からなる、まさに重層的な会議体の整備により、それぞれの役割（特に各種の事業委託を予定している桐生市社会福祉協議会の役割）を明確化。
- ・上記内容にも関係するが、重層的支援体制整備事業の主たる事業を委託する桐生市社会福祉協議会との実質的連携を強化する為、共同事務局の様な形式（尾道市は移行準備期間に同市社会福祉協議会と共同事務局を設置して各種事業の課題等を共有したとのこと）なども検討し、的確かつ確実な情報共有が図れる体制を構築。
- ・ひきこもり支援を重層的支援体制の重点分野として位置付け、訪問支援、家族支援、人材育成等を組み合わせた包括的な支援体制を構築。
- ・地域住民や関係団体との連携を強化し、相談会や研修等を通じて地域における支援力の向上と社会資源の創出を図る。（参加支援事業の強化にも資する）
- ・事業の効果を検証するため、相談件数のみならず、多機関協働の実施状況や支援成果等を踏まえた指標を設定し、継続的な評価と改善を行う。

## 7. 結び

今回の視察を通じ、尾道市の取組は、単なる相談窓口の設置にとどまらず、「相談の受け止め」「多機関協働」「地域づくり」を一体的に推進している点に大きな意義があると認識した。

特に、「福祉まるごと相談窓口」により入口を明確化し、「おのまる会議」により支援の方向性と役割分担を整理し、さらに課題解決会議を通じて地域資源の創出へとつなげる一連の流れは、重層的支援体制整備事業の理想的な運用モデルであるといえる。

また、ひきこもり支援においても、相談・訪問・家族支援・人材育成を組み合わせた包括的な取組が実施されており、個別支援と地域づくりが連動している点は高く評価できる。

一方で、これらの取組は、明確な体制設計と継続的な運用努力の積み重ねによって成り立っており、単に制度を導入するだけでは実現し得ないことも強く認識したところである。

本視察で得られた知見を踏まえ、市民が孤立することなく安心して暮らせる地域社会の実現に向け、引き続き取り組んでいくと決意するものである。

以上、報告する。